

# 城東区制 70周年記念特集



## 城東区の歴史を歌と共に♪

写真、文章は城東区制70周年記念誌を参考にしました。



榎並猿楽発祥の地の碑(榎並小学校東門前)

### 榎並猿楽

南北朝から室町時代にかけては、榎並猿楽座が活躍しました。猿楽(申楽)は、平安時代はこっけい、ものまね芸が中心でしたが、次第に劇の要素が加わり、鎌倉時代には能と狂言に分かれて発展しました。猿楽の集団は、各地の神社や寺院に所属して職業としての座を作りました。

榎並猿楽は、鎌倉時代の末期に丹波猿楽の新座として榎並に本拠を構え、住吉神社のお田植神事などに奉仕して特権を得ていました。一時は本座をしのぐ勢いで、南北朝時代には丹波猿楽の楽頭として活躍しました。

榎並猿楽には名手が多く、大和猿楽の観阿弥から鬼の風を学んだという馬の四郎や、鶴飼の「柏崎」の作者といわれる左衛門五郎、獅子舞の名手徳寿などがいました。しかし、応仁の乱以後、次第に衰退し、応永31年(1424)、長年保持してきた丹波猿楽の楽頭職を大和猿楽の観世に譲り渡しました。



鳴野・今福古戦場碑(城東小学校庭)

### 鳴野・今福古戦場

大阪冬の陣で有名な鳴野・今福の合戦は、城東区を主戦場としたものでした。慶長19年(1614)10月29日、大坂城方は東軍の進軍に備えて淀川と旧大和川の堤防を切り、淀川と旧大和川にはさまれた榎並一帯は水没し、旧大和川の堤防の上だけが戦場という珍しい戦いになりました。11月26日未明に始まった戦いは、双方の銃撃戦となり、堤防上では激しい白兵戦も繰り広げられ一進一退を繰り返しました。このとき、東軍の佐竹・上杉軍6500人が大坂城方の勇将木村重成と乱戦の末、打ち破ったと伝えられています。

### 菅公腰掛石

菅原道真は、豊かな学識によって頭角をあらわし、宇多天皇に重用され学者としては珍しく右大臣にまで昇進しました。天皇は道真を使って藤原氏を抑えようとしたのですが、異例の昇進をねたんだ左大臣・藤原時平らの謀略により、延喜元年(901)九州の太宰府へ左遷され2年後に死んでしまいます。

九州へ流される途中、淀川を船で下り摂津に着いたとき、一夜の外泊を許されます。道真は道明寺(藤井寺市)に住む叔母の覚寿尼のもとを訪ね別れを惜しみました。道明寺から難波の津に



諏訪神社境内にある菅公腰掛石

向かう途中、諏訪明神で休息のとき腰掛けたのが、諏訪明神に残る「菅公・腰掛石」です。この故事から、この地は左遷道と名付けられ、後に左専道と改められました。

### ええじゃないか♪城東区

作詞・作曲/リピート山中

太閤さんのおひざもと お城の東の城東区

交通便利で治安よし

世話やきおばちゃんが多い町

縄文時代は海の底 弥生時代は湖に

日本書紀では湿地帯

今でも河がぎょうさん流れる緑の町よ

ここは城東 唄えや踊れ

ここは城東 ソラ! 元気上等 唄えや踊れ

<かけ声>

ええじゃないか ええじゃないか 城東上等城東上等

ええじゃないか ええじゃないか ハッ! ハッ! ハッ!

平安以前の丸木舟 菅原道真 左専道

鳴野今福 冬の陣 戦国武将が夢の跡

榎並猿楽だんじり囃子 諏訪の獅子舞相撲茶屋

野崎詣りの屋形船

数えあげたらキリないほどの歴史のロマン

ここは城東 唄えや踊れ

ここは城東 ソラ! 元気上等 唄えや踊れ

<かけ声>

ええじゃないか ええじゃないか 城東上等城東上等

人口密度がメチャ高い マンションどんどん建ち並ぶ

だけど人情さめやらず

近所のオッチャン面白い ソラ 笑える町よ

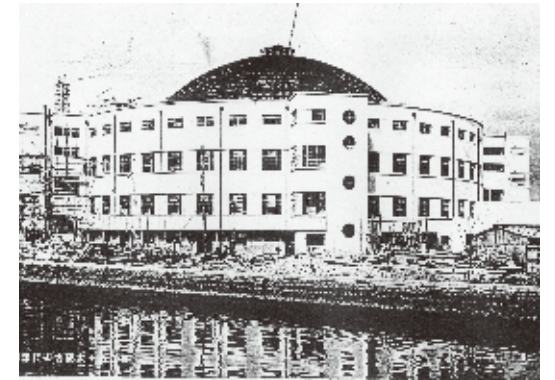
ここは城東 唄えや踊れ

ここは城東 ソラ! 元気上等 唄えや踊れ

ここは城東 唄えや踊れ

ここは城東 ソラ! 元気上等 唄えや踊れ

ソラ! 元気上等 唄えや踊れ



### 大阪大国技館

大日本相撲協会は、大相撲大阪場所興行のため大阪大国技館建設を計画し、古市に昭和12年(1937)3月に竣工しました。敷地6千坪、建坪3千坪、鉄筋コンクリート4階建ての洋風ドーム式で、収容人員25000人、当時の両国国技館よりも大きい、国内屈指の屋内スポーツ施設として誕生しました。

当時国技館を中心に商店街や住宅を整備する計画がありましたが太平洋戦争で立ち消えとなりました。大阪大国技館もわずか4年間、7回の準本場所が開催されただけで役目を終え、戦中は軍需工場に転用、戦後は進駐軍が接収し、昭和26年頃には解体され現在は住宅団地になっています。



関目商店街(昭和30年代 コスモ映像(株)提供)



桜並木が美しい城北川



大阪市営トロリーバスのイラスト  
車体上部のポールで集電し  
を走ります。(大阪市交通局提供)